

緑のカーテンキャンペーン 2023 応募作品 ※入賞作以外

◆“よっちゃん”さんの作品（ゴーヤ）

「息子夫婦に涼しさを提供できました。」



◆環境ネットワークいわくに “おんちゃん”さんの作品（イモ）

「毎年気温が上昇し、つるが伸びなくなっている。途中で葉が枯れてくる。」



◆岩崎さんの作品（ゴーヤ、キュウリ）

「庭はずいぶん日差しが遮られました。少しは地球温暖化防止に貢献できたでしょうか。」



◆重田さんの作品(インゲン)

「なんか育ちが悪かったです。失敗したので、アピールポイントはないですね。」



◆村重さんの作品(ゴーヤ)

「一日2回朝晩水をやると、ちゃんと育って、実をつけて、食べたときはうれしかった。」



◆米田さんの作品(アサガオ)

「新鮮な緑の葉のカーテンに鮮やかな花びらが映え、心が癒される。」



◆“レッツゴーヤ”さんの作品(ゴーヤ)

「アパートのベランダだが、虫がゴーヤの花に集まってきて受粉を助けてくれた。」



◆いちょうの家の作品(アサガオ)

「登降園中の親子が喜びながら咲いた花を見ている姿があった。」



◆ポケットの作品(ミニトマト)

「トマトでも緑のカーテンができる。赤い実がとても可愛く見える。」



◆りぼん保育園の作品(ミニトマト)

「食べ物を育てることで緑のカーテンとの両立として、食育への試みを続けることができた。」



◆海土路保育園の作品(ゴーヤ)

「子供たちがみんなで力を合わせて大切に育てた愛情たっぷりのゴーヤです。」



◆川西保育園の作品(アサガオ)

「部屋の中から見える花、外から見える花にみんなで癒された夏でした。」



◆岩国警察署の作品(キュウリ)

「育ったキュウリを署員で分け合うことで、課の垣根を越えて署員の交流ができました。」



◆灘小学校の作品(ゴーヤ)

「登校時や下校時に児童が成長の様子を楽しみに観察していた。」



◆田吹さん(ゴーヤ)

「今年は種もまき、苗も植えたけど、成育が悪かった。」

※写真の添付なし